



吉高ニュース

平成26年4月号

岐阜県立古城高等学校渉外部

4月の様子 ～校訓「行学一致」「自主・創造」「心身の錬磨」～

8日入学式 (全日制 第59回生)

普通科105名、理数科23名の計128名が入学しました。入学式では新入生を代表して、柏當梨乃さんが宣誓しました。式終了後、最初のホームルームを行い、その後、正面玄関で恒例のクラス写真を撮影しました。



入学式にふさわしいお天気に恵まれ、新しい高校生活がスタートしました。

9日対面式, 10日部紹介

入学式の翌日、新入生と2・3年生が顔を合わせる対面式では、生徒会長の中田真平さんが新入生へ歓迎の言葉を述べ、小峠音緒さんが新入生を代表して挨拶しました。

翌日の部紹介では、各部が実演や寸劇など工夫を凝らした演出で、新入生に入部を呼び掛け、大きな拍手が送られました。



新入生は入場の様子もきちんとしているし、代表のあいさつも元気が良く、頼もしく感じました。(3年女子)

17,18日新入生放課後学習会

新入生の学習面を支援するため、古典、数学、英語において授業の進め方から予習復習などの家庭学習までの初期指導を行いました。そして、17,18日の放課後2時間、全員が自主学習することを通して、学ぶ姿勢の定着化を図りました。



予習・復習の仕方、ノート作り方、授業の受け方を学びました。家庭学習を充実させたいです。(新入生女子)

19日古川祭 (英語ボランティア)

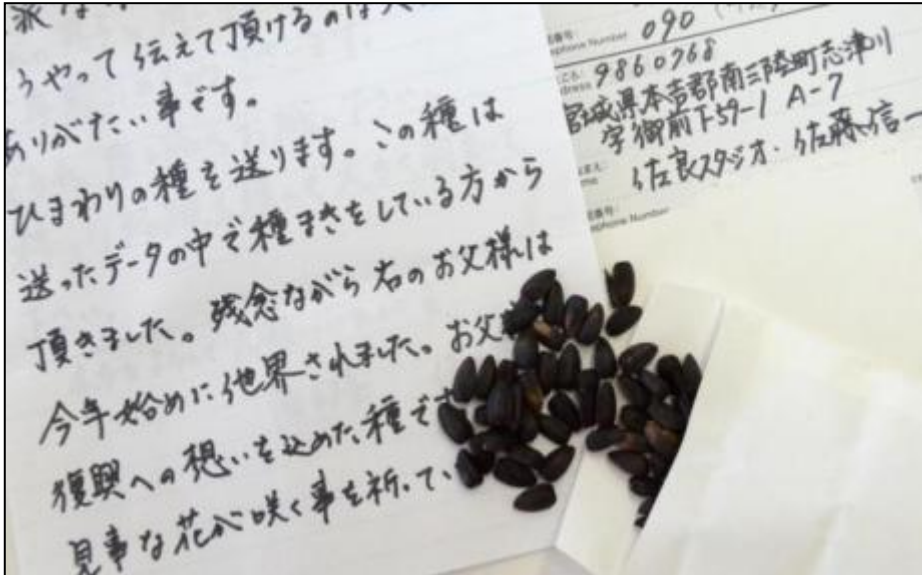
2年生と3年生のボランティアが授業の一環として、古川祭を訪れた外国人観光客に英語で町の案内をしました。市の観光協会にご協力いただき、揃いの法被を着たり、英会話にジェスチャーを交えたりしながら、積極的に古川の良さを伝えようとしました。



最初は自分の思いが伝わらず不安がつのりましたが、話すにつれて伝えられるようになり、伝える喜びを感じられるようになりました。(3年男子)

宮城県・南三陸町のひまわりを吉城高校に!

2011東日本大震災から3年。2014年1月、南三陸町の佐藤信一さんから、復興への想いを込めた「ひまわりの種」が届きました!



震災前の南三陸町志津川は一面ひまわりでいっぱいでした。「キラメキ写真館第11号」の88～90ページをぜひご覧ください!

大津波にも関わらず 芽を出し、花を咲かせたひまわり。

このひまわりを吉城高校でも育てませんか。

*宮城県・南三陸町の写真家の佐藤信一さんからの写真を通して私たちの震災の記憶を確かなものにしていきましょう

「被災地の痛みを忘れない」

宮城県・南三陸町のひまわりを吉城高校に! プロジェクト
このプロジェクトにぜひご賛同ください。

2014/01 吉城高校写真部

写真部は、被災地の復興の様子を撮影し続ける南三陸町の写真家の佐藤信一さんから写真の提供を受け、カベ新聞「被災地のいま／南三陸から」を発行し、被災地の今を伝え続けます。

吉城高校広報誌 「吉高ニュース」は、

～吉城高校が地域の皆様からより愛される高校になるために～

地域と学校の懸け橋となり、吉城高校の魅力を発信していきます。

*古川町と宮川町の方には毎月15日の回覧で、河合町の方には各世帯でお読みいただいております。また、吉城高校のホームページからでもご覧になれます。なお、**吉高 Today** はほぼ毎日更新しております。

皆様のご意見をお寄せください。(担当: 吉城高校渉外部)